



平成29年11月30日

各位

上場会社名	株式会社アーレスティ
代表者	代表取締役社長 高橋 新
(コード番号)	5852)
問合せ先責任者	経営企画部長 成家 秀樹
(TEL)	03-6369-8664)

(訂正) 「平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成27年11月10日付で公表しました「平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容及び理由

訂正内容につきましては、本日付で公表しました「第97期 第2四半期報告書の提出、過年度の有価証券報告書及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」、理由につきましては、平成29年11月13日付で公表しました「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明のお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所は、四半期連結財務諸表中の法人税等調整額の訂正とそれに伴う繰延税金資産又は繰延税金負債の訂正であり、付随する各項目であります。

訂正の箇所には下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を添付しております。

以 上

(訂正後)



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月10日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石丸 博 TEL 03-6369-8660
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	72,206	10.1	1,819	280.4	1,236	—	341	—
27年3月期第2四半期	65,606	12.9	478	△44.1	45	△94.2	△366	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 776百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △615百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	<u>13.22</u>	<u>13.12</u>
27年3月期第2四半期	<u>△14.17</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	<u>147.754</u>	<u>61.505</u>	<u>41.5</u>
27年3月期	<u>147.577</u>	<u>60.849</u>	<u>41.2</u>

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 61.373百万円 27年3月期 60.737百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
28年3月期	—	6.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,900	3.7	4,200	66.6	2,800	72.6	1,750	<u>426.9</u>	67.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	26,027,720株	27年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	181,346株	27年3月期	203,748株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	25,836,655株	27年3月期2Q	25,824,492株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続いております。海外においては、アメリカの景気は回復が続いており、アジアでは中国の景気は減速し、消費の伸びがやや低下しています。インドの景気は持ち直しているなど世界の景気は、アジア新興国等において弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復しています。

このような環境のなかで、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高72,206百万円(前年同四半期比10.1%増)、営業利益1,819百万円(前年同四半期比280.4%増)、経常利益1,236百万円(前年同四半期は経常利益45百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益341百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失366百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、昨年の消費増税以来続く販売不振、また、今年4月の軽自動車税引き上げによる国内販売の減速が続いています。一方で円安と原油安が続いていることを背景に、北米市場向けを中心とした輸出は好調を維持しています。当社もこれらの影響を受け受注量は減少傾向にあるものの、主に地金市況の影響により、売上高は31,157百万円(前年同四半期比2.7%増)となりました。収益面においては、主に減価償却費の増加等により、セグメント利益は1,056百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米では、アメリカでの過去最高水準となる自動車販売の影響を受けて受注が増加したことに加え、部品の新規立ち上がりや、円安基調にある為替換算影響等により、売上高は23,776百万円(前年同四半期比24.7%増)となりました。収益面においては、増収効果に加え生産性改善等の施策によりアメリカ工場が黒字化したこと等により、セグメント利益は470百万円(前年同四半期はセグメント損失608百万円)となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、経済減速などにより自動車市場の伸び率が鈍化した影響に加え、市場の需要変化を主要因とした販売減少が重なり、当社でもこの影響を受けているものの、円安基調にある為替換算影響等により売上は微増となりました。インドでは、新規部品の量産開始効果により売上が増加しました。この結果、アジアでの売上高は13,618百万円(前年同四半期比4.9%増)となりました。収益面においては、中国における受注減少の影響があったものの、インド工場における収益改善等により、セグメント利益は106百万円(前年同四半期比56.4%増)となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、受注量は前年同四半期とほぼ同水準であるものの、販売価格が上昇したことにより、売上高は2,590百万円(前年同四半期比10.5%増)となりました。収益面においては、使用原材料価格の下落及び原価低減活動による効果等により、セグメント利益は149百万円(前年同四半期はセグメント損失33百万円)となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注により、売上高は1,063百万円(前年同四半期比22.2%増)となりました。収益面においては、増収及び原価低減活動による効果等により、セグメント利益は41百万円(前年同四半期はセグメント損失12百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ177百万円増加して147,754百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加1,395百万円、たな卸資産の減少684百万円、売上債権の減少139百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ478百万円減少して86,249百万円となりました。主な要因は、仕入債務の減少1,081百万円、流動負債その他に含まれる設備債務の増加656百万円でありませす。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ656百万円増加して61,505百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益341百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加167百万円、為替換算調整勘定の増加475百万円であります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末41.2%から41.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年5月8日に公表した業績予想を修正いたしました。

ダイカスト事業における国内の販売量はほぼ当初予想通りと見込まれますが地金市況影響により売上高が増加し、北米ではメキシコの販売量の減少が見込まれるものの為替影響により売上高の増加が予想される一方で、アジアでは中国の販売量減少により売上高が大幅に減少する見込みであることから、連結売上高は減少する見通しです。利益面では、主に国内は海外売上高減少に伴うロイヤリティ収益の減少があるものの経費削減等により増益が見込まれる一方で、アジアの売上高が大幅に減少する影響により減益が見込まれ、北米でのメキシコの販売量減少に伴う減益が見込まれることから、アルミニウム事業及び完成品事業の原価低減等の効果による増益を加味しても連結営業利益は当初予想を僅かに下回る見込みです。経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、営業利益の減少に加え営業外費用として為替差損が見込まれることから当初予想を下回る見通しです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	146,200	4,250	3,300	2,000	77.45
今回発表予想 (B)	143,900	4,200	2,800	1,750	67.72
増減額 (A-B)	△2,300	△50	△500	△250	—
増減率 (%)	△1.6	△1.2	△15.2	△12.5	—
前期実績	138,727	2,521	1,622	332	12.86

参考 (通期連結業績予想のセグメント情報)

セグメント	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減
ダイカスト事業 日本	62,600	63,800	1,200	2,200	2,350	150
ダイカスト事業 北米	44,500	45,300	800	1,400	1,150	△250
ダイカスト事業 アジア	32,100	27,600	△4,500	500	400	△100
アルミニウム事業	5,200	4,900	△300	100	230	130
完成品事業	1,800	2,300	500	50	70	20

為替レート的前提 (通期平均) : 119.45円/米ドル、19.25円/元、1.90円/インドルピー
 (前回予想) : 115.00円/米ドル、19.00円/元、1.90円/インドルピー

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,885	6,337
受取手形及び売掛金	24,229	23,744
電子記録債権	1,450	1,795
商品及び製品	4,166	3,549
仕掛品	4,549	4,635
原材料及び貯蔵品	3,887	3,734
その他	4,296	3,640
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	48,464	47,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,737	17,058
機械装置及び運搬具（純額）	49,570	50,473
土地	5,294	5,282
建設仮勘定	7,591	8,516
その他（純額）	8,939	8,197
有形固定資産合計	88,133	89,528
無形固定資産	1,541	1,642
投資その他の資産		
投資有価証券	7,160	7,033
その他	2,277	2,113
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	9,438	9,146
固定資産合計	99,113	100,318
資産合計	147,577	147,754
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,388	13,497
電子記録債務	6,548	6,357
短期借入金	6,187	6,567
1年内返済予定の長期借入金	11,806	11,805
未払法人税等	777	545
賞与引当金	1,532	1,448
役員賞与引当金	13	—
製品保証引当金	196	135
その他	7,051	8,069
流動負債合計	48,502	48,428
固定負債		
長期借入金	28,845	28,535
退職給付に係る負債	4,816	4,854
その他	4,563	4,431
固定負債合計	38,225	37,821
負債合計	86,728	86,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,939	6,939
資本剰余金	10,180	10,180
利益剰余金	<u>31,623</u>	<u>31,790</u>
自己株式	△304	△270
株主資本合計	<u>48,438</u>	<u>48,639</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,468	3,384
為替換算調整勘定	<u>9,154</u>	<u>9,630</u>
退職給付に係る調整累計額	△324	△280
その他の包括利益累計額合計	<u>12,299</u>	<u>12,734</u>
新株予約権	111	131
純資産合計	<u>60,849</u>	<u>61,505</u>
負債純資産合計	<u>147,577</u>	<u>147,754</u>

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）
売上高	65,606	72,206
売上原価	60,078	64,947
売上総利益	5,527	7,259
販売費及び一般管理費	5,048	5,440
営業利益	478	1,819
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	70	77
為替差益	0	—
スクラップ売却益	69	72
その他	83	83
営業外収益合計	234	243
営業外費用		
支払利息	598	665
為替差損	—	139
その他	68	21
営業外費用合計	667	826
経常利益	45	1,236
特別利益		
固定資産売却益	6	5
補助金収入	14	55
特別利益合計	20	60
特別損失		
固定資産除売却損	62	68
特別損失合計	62	68
税金等調整前四半期純利益	3	1,228
法人税、住民税及び事業税	700	610
法人税等調整額	<u>△330</u>	<u>277</u>
法人税等合計	<u>369</u>	<u>887</u>
四半期純利益又は四半期純損失（△）	<u>△366</u>	<u>341</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	<u>△366</u>	<u>341</u>

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	<u>△366</u>	<u>341</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	590	△83
為替換算調整勘定	<u>△881</u>	<u>475</u>
退職給付に係る調整額	41	43
その他の包括利益合計	<u>△249</u>	<u>435</u>
四半期包括利益	<u>△615</u>	<u>776</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△615</u>	<u>776</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3	1,228
減価償却費	5,984	7,520
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38	△87
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△22	△60
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	107	99
受取利息及び受取配当金	△80	△87
支払利息	598	665
有形固定資産除売却損益 (△は益)	54	62
補助金収入	△14	△55
売上債権の増減額 (△は増加)	837	285
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△495	777
仕入債務の増減額 (△は減少)	△462	△1,139
未払金の増減額 (△は減少)	170	187
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△320	237
その他	△585	327
小計	5,736	9,962
利息及び配当金の受取額	80	87
利息の支払額	△561	△660
補助金の受取額	14	50
法人税等の支払額	△1,843	△836
法人税等の還付額	247	293
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,673	8,897
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	96
有形固定資産の取得による支出	△7,403	△7,783
有形固定資産の売却による収入	45	10
その他	△54	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,412	△7,767
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	14,677	17,540
短期借入金の返済による支出	△14,975	△17,209
長期借入れによる収入	6,858	5,382
長期借入金の返済による支出	△4,626	△6,019
配当金の支払額	△153	△156
その他	△108	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,670	△584
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,198	548
現金及び現金同等物の期首残高	8,791	5,789
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,593	6,337

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	30,348	19,063	12,979	2,345	869	65,606
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,220	5	454	1,482	0	4,162
計	32,568	19,068	13,433	3,827	870	69,768
セグメント利益又は損失 (△)	1,120	△608	67	△33	△12	533

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	533
セグメント間取引消去	△55
四半期連結損益計算書の営業利益	478

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	31,157	23,776	13,618	2,590	1,063	72,206
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,160	0	901	2,407	0	5,470
計	33,318	23,777	14,520	4,997	1,063	77,677
セグメント利益	1,056	470	106	149	41	1,824

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,824
セグメント間取引消去	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	1,819

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。